

第十三回 帝國議會 貴族院商法修正案委員會速記錄第一號

明治三十二年一月十八日(水曜日)午前十時二十五分開會

○委員長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ開會致シマス

○三浦安君 此商法ハ前回ニ既ニ本院デ通過致シマシテ皆様御承知ノコトデナラムコトヲ希望致シマス、初メカラ一々逐條ニシマセズニ先ツ修正ト除加ニナリマシタ分、ソレダケノ説明ヲ先キニ政府委員ヨリ御説明ヲ願ヒマス
○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデハ唯今三浦君ノ要求ガアリマスカラドウ
○政府委員ニ於テ説明アラムコトヲ希望致シマス
○政府委員(岡野敬次郎君) 今回提出ニナリマシタ商法修正案ハ前議會ニ於テ通過イタシマシタ商法修正案ト大體ニ於テハ變ルコトハナイノデアリマスカラ唯今ノ御説ニ基キマシテ前ノ修正案ニドレダケノ修正ヲ加ヘタルコトヲ簡單ニ申上ゲタイト思フ、第一ハ第十四條デアリマス、是ハ殆ド誤植デアリマシテ抵觸ノ抵ノ字ガ手扁ニナツテ居リマシタガ是ハ誤リデアリマスカラ今度ハ改メマシタ、次ハ第四十二條デ前ノ修正案ニ於テハ「本邦ニ於テ會社トハ商行爲ヲ爲スヲ業トスル目的ヲ以テ設立シタルモノヲ謂フ」トアリマシタノフ「モノ」ノ代リニ「社團」ト云フ文字ヲ入レタノデアリマス、此會社ハ固ヨリ社團法人デアルト云フコトハ疑ナイコトデアリマシテ「モノ」ト云フノハ如何ニモ漠然デアリマスカラ法律上「社團」ト云フ文字ヲ遺フ方ガ穩當デアリ且ツ適切デアルト云フ理由ニ因ツテ改メタノデアリマス、其次ハ第四十四條デゴザイマス、前修正案ニ於キマシテハ第二項ニ「會社ノ住所ハ其本店ノ所在地ニ在ルモノトス但支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テハ其支店ノ所在地ニ在ルモノト看做ス」斯ウ云フ但書ガ加シテ居タルノヲ今回之ヲ削除シタノデアリマス、其削除致シマシタ理由ハ精神ニ於テハ敢テ變リハナイノデアリマスルガ其但書ヲ削除致シマシタ代リニ此修正案ノ第二百七十八條ニ第三項トシテ一項ヲ加ヘタノデ「支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テハ其支店ヲ以テ營業所ト看做ス」ト云フ一項ヲ新ニ加ヘタノデアリマス、此第二百七十八條ノ第三項ノ規定ハ前ノ修正案ニハナカツタ規定デアリマス、デ前修正案ノ第四十四條ニ但書ヲ加ヘマシタ、其理由ノ多クハ支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テ特ニ何レノ場所ニ於テ其行爲ノ取引ヲ履行ヲ爲スカト云フコトヲ極メナカツタ場合ニハ其支店ノ所在地ト云フモノヲ以テ此法律上ノ履行ノ場所トスルト云フノヲ主トシテ定ムル精神デ加ヘタ但書デアリマスカラシテ此新シイ修正案ノ第二百七十八條ノ第三項ト大體異ナルコトハナイノデ却テ四十條ニ但書ヲ加ヘル方ガ穩當デアラウト云フ所カラ此ノ如ク修正ヲ加ヘタ譯デアリマス、ソレカラ次ハ第五十八條、前修正案ニハ「定款ノ變更其他會社ノ

目的ノ範圍ニ屬セサル行為ヲ爲スニハ總社員ノ同意アルコトヲ要ス」トアリマシタノヲ改メマシテ「範圍内ニ在ラサル行為」トシタノデアリマス、是ハ意味ニ於テハ少シモ變リハナイノデアリマシテ民法ニ矢張リ「範圍内ニ在ラサル」ト云フ文例ニナツテ居リマスカラソレニ合セマス考カラ修正ヲ加ヘタリ第三項ノ規定ハ社員カ前項ノ規定ニ違反シタル場合ニ之ヲ準用ス」トアリマシタノデ、此三十二條ノ二項三項トアルノハ支配人ガ主人ノ承諾ヲ得ズシテ自己ノタメニ商行爲ヲ爲シタル場合ニ主人ハ如何ナル權利ヲ持ツカト云フコトヲ定メテアル、之ヲ會社ノ方ニ準用シテモ少シク不明ノ點ガアルカラ寧ロ之ハ書碎ク方ガ宜カラウト云フ理由デ第六十條ニ新ニ第二項第三項ト云フ長イ文章ヲ加ヘタノデアリマスガ、是モ亦趣意ニ於テハ前修正案ト少シモ變リハナイ、唯明瞭ニスルタメニ修正ヲ加ヘタノデアリマス、次ハ第六十八條中ニ「事業年度」ト云フ文字ガ前修正案ニ用井テアタノヲ營業年度ト改メマシタ、是ハ商事會社ノコトデモアリ事業年度ト云フヨリ寧ロ營業年度ド云フ方ガ穩當デアラウト云フダケノ理由デ改メマシタ、次ハ第八十六條、前修正案ニ於テハ「後十四條ノ規定ニ從ヒテ清算ヲ爲スコトヲ要ス」トアリマシタノヲ「後十三條」ト云フコトニ改メマシタノデ、此十三條ト改メマシタ理由ハ下ニ在ル所ノ箇條中一箇條削除シタ結果デアリマシテ其削除シタ理由ハ其所ニ至シテ述ベマス、ソレカラ次ハ第八十七條、前修正案ニハ第三項トシテ「社員カ死亡シタル場合ニ於テ相續人數人アルトキハ前二項ニ定メタル權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス」トアッタノヲ之ヲ削除シタノデ其理由ハ必シモ其清算人ノ選任ニ就テノミ社員ノ死亡シタル場合ヲ豫想スペキモノデナイ、他ノ場合ニモ同様ニ相續人數人アル場合ノ規定ヲ必要トスルノデアリマスデ、此新修正案ノ第一百二條ニ「社員カ死亡シタル場合ニ於テ其相續人數人アルトキハ清算ニ關シテ社員ノ權利ヲ行ヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス」ト云フ新ラシイ箇條ヲ加ヘマシタ、此第一百一條ノ規定ハ唯今申シタ前修正案ノ削ラレマシタ第三項ヨリハ其適用ハ廣クナリマスガ併ナガラ精神ハ矢張リ變リハナイノデアリマス、次ハ第九十一條、此第三項ニ「清算人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス」ト云フコトガアリマス、是ハ前修正案ニハ第九十四條トシテ「清算人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス」トアッタノデ他ノ文例モアリマスカラ寧ロ九十一條ニ合併スル方ガ穩當デアルト云フ所カラ九十一條ノ第三項トシタノデアリマス、是ハ特ニ修正ヲ加ヘタト云フ程ノコトデハアリマセヌ、此九十四條ヲ一箇條削ラテ新修正案ノ九十一條ノ第三項トイタシタノデアリマス、ソレデ先キニ申シタ第八十六條ニ舊

ト「後十四條」トアッタノヲ「後十二條」ト改メタ譯アリマス、次ハ第百條ニ
 「此場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス」トアリマ
 ス、是ハ前修正案ニハ「八十八條ノ規定ヲ準用ス」ト云フコトニナツテ居リマ
 ス、所ガドレダケヲ準用スルカト云ヘバ、唯今百條ニ就テ讀ミマシタ通り「裁判
 所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ」云々ト云フ簡單ナ言葉デアリマスカラ「準用
 ス」ト云フヨリ寧ロ此所ニ舉ゲタ方ガ穩當デアラウト云フノデ改メマシタ、次
 ハ第百一條、舊修正案ノ第百二條、「會社ノ帳簿、其營業ニ關スル信書及ヒ清
 算ニ關スル一切ノ書類ハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後十年間
 之ヲ保存スルコトヲ要ス、其保存者ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ
 コトニナツテ居リマシタ、之ヲ今度ハ新修正案ノ第百一條ニ於テ少シ精ク規
 定シタノデアリマス、是ハ修正ノ理由トシテ申ス程ノコトモアリマセヌガ、合
 名會社ノ場合ニ於テハ株式會社ト違ヒ必シモ法律ニ定メテアル所ノ清算ノ手
 續ト云フモノヲ行フ必要ハナイノデアリマス、ソコデ此新修正案第八十五條
 ニ於キマシテ「解散ノ場合ニ於ケル會社財產ノ處分方法ハ定款又ハ總社員ノ
 同意ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得」ト云フ特別ノ規定ガアリマス、株式會社デ
 ハ必ズ現在ノ財產ヲ賣拂ヒ金ニ換ヘテサウシテ株主ニ分配セナクテハナラヌ
 ト云フコトニナツテ居ル、其法律ニ定メテアル清算手續ト云フモノハ株式會
 社ニ於テハ是非行ハナクテハナラヌ、合名會社ニ於テハ或ル場合ニ於テハ行
 ハナイデモ宜イト云フコトニナツテ居ル、株式會社ハ是非清算手續ニ依ルト
 云フコトデ合名會社ニ於テモ清算手續ヲ爲スト云フコトヲ一緒に併セタノ
 宜イ、第八十五條ニ定メテアルヤウナコトハ特別ノ場合デアルカラ別段ニ書
 分ケヌデモ宜シトイ云フコトデ第一百一條ニ於テ「第八十五條ノ場合ニ在リテ
 ハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後其他ニ在リテハ清算結了ノ登
 記ヲ爲シタル後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス」ト云フコトニ改メマシタ、
 第百二條ヲ新ニ茲ニ加ヘタ理由ハ先刻申述タ通リデアリマス、次ハ第一百八條
 デアリマス次ハ「以テ」ノ以下ニ「其」ト云フ字ガナカツタノデアル是ハ「其」ト
 云フ字ヲ加ヘタ方ガ宜カラウト云フノデ加ヘマシタ、次ハ第一百十一條中「事
 業年度」ト云フコトヲ前ノ通り「營業年度」ト云フコトニ改メマシタ、斯ノ
 如ク改メタノハ先刻他ノ箇條ニ就テ申述べタ通リデアリマス、其次ハ第一百十
 二條「有限責任社員ハ無限責任社員全員ノ承諾アルトキハ」トアル其「全員」
 ト云フ文字ヲ新ニ加ヘタノデアリマス、是ハ決シテ意味ニ於テ變リハアル譯
 ハナイ、他ノ箇條ニ或ハ「他ノ社員」或ハ「無限責任社員」ト云フコトガアル其
 場合ニ之ヲハッキリ言表ハスガ爲メニ「全員」ト云フ文字ヲ加ヘタノデアリ
 マス、ソレカラ次ハ「第百二十六條ノ一號中」第百二十條及第二十二條ニ掲ケタ
 ル事項」トアリマス、是ハ前修正案ニ於キマシテハ「第百二十條及第二百二十
 二條第一號第三號乃至第五號ニ掲ケル事項」ト致シマシテ特ニ「第二號」ト云
 フ文字ガ除イテアッタノデアリマス、新修正案ニ於キマシテハ「第二號」ヲ加ヘ
 タノデアリマスカラサウ致シマスルト第二十二條ニ掲ゲテアル事項ハ悉ク這

入ルコトニナリマスカラ唯第二號ヲ以前省イテアッタノヲ加ヘタト云フダケ
 ニ過ギナイ、而シテ此第百二十一條ノ第三項ニ「額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ
 發行スル場合ニ於テハ株式ノ申込人ハ株式申込證ニ引受價額ヲ記載スルコト
 ノ要ス」ト云フ一項ヲ新ニ加ヘタノデアリマスガ前修正案ニ於キマシテハ丁
 度此第百二十六條ニ當リマス所ニ第四號トシテ「株式發行ノ價額」ト云フモ
 ノガ書イテアッタ此「株式發行ノ價額」ト云フモノハ發起人ガ書カナケレバ
 ナラヌト云フコトニナツテ居ツタノデアリマスガ株式會社カラ株主ヲ募集スル
 場合ニ申込人ヲシテ吾ハ額面以上例ヘバ五拾錢ダケ拂ツテ株式ヲ引受ケタイ
 又或ル者ハ壹圓ダケ餘計拂ツテ株式ヲ引受ケタイト云フコトハ有リ得ルコト
 デアリマスカラ初カラ發起人ヲシテ之ヲ書カシメルト云フヨリハ募集ニ應セ
 ムトスルコトニ書カセル方ガ宜シトイ云フノデ第二項ヲ加ヘタノデアリマス
 又或ル者ハ壹圓ダケ餘計拂ツテ株式ヲ引受ケタイト云フコトハ有リ得ルコト
 デアリマスカラ初カラ發起人ヲシテ之ヲ悉ク併セタノデア
 リマス、ソレカラ次ハ「第百二十條ノ第二行中ニ「其權利ヲ失フヘキ旨」ト云フ
 コトニナツテ居リマス前修正案ニ於キマシテハ「失フコトアルヘキ」トアッ
 テ「コトアル」ノ四字ガアッタノデゴザイマスガ之ヲ削リマシタ、之ヲ削リマ
 シタ理由ト申シマスルモノハ此修正案ノ第百五十二條ノ第一項ニ較々類シタ
 規定ガアリマシテ矢張「株主ノ權利ヲ失フヘキ旨」トアリマスルノデソレヲ一
 緒ニ文章ヲ同ジニスル方ガ宜シトイ云フノデ「コトアル」ト云フ四字ヲ削
 テ「失フヘキ旨」ト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ次ハ同ジ條ノ第
 百三十條ノ第二項ニ「發起人カ前項ノ通知ヲ爲シタルモ株式引受人カ拂込ヲ
 爲ササルトキハ其權利ヲ失フ此場合ニ於テ發起人カ引受ケタル株式ニ付キ更
 ニ株主ヲ募集スルコトヲ得」トアリマス、前ニハ「發起人カ前項ノ通知ヲ爲シ
 タルモ株式引受人カ拂込ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フ」ト云フコトガアリ
 ノデアリマスガ是モ矢張唯今ノ第百五十三條ニ「會社カ前條ニ定メタル手續
 ヲ蹟ミタルモ株主カ拂込ヲ爲ササルトキハ其權利ヲ失フ」ト云フコトガアリ
 マス、是ト文章ヲ一致サセル爲ニ文字ヲ入レタノデアリマス、ソレカラ次ハ第
 百二十一條第二項中ノ一番終リニアリマスル「及ヒ第百六十三條第一項第二
 項」トアリマスノハ第百六十四條デアリマシテ是ハ全部準用シテアリマスガ
 準用スベキモノハ一項ニ限リテ居ルノデアリマスカラ民法ニ於テモ準用
 スルノ必要アル項目ダケヲ上ゲル趣意ニ依クテ更ニ第一項第二項ト云フ文字
 ヲ書イタノデアリマス、次ハ第百三十二條、以前ハ「發起人ハ創立總會ニ會
 社ノ創立ニ關スル事項ヲ報告スルコトヲ要ス」ト云フコトニナツテ居ツタノデ
 寧ロ「發起人ハ會社ノ創立ニ關スル事項ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス」
 ト云フ方ガ文章ガ穩デアラウト云フノデ文章ヲ書イタノデアリマス、次ハ前
 修正案ノ第百四十六條ヲ削ツタノデアリマス、丁度此修正案ノ次ニ一條削ラレ
 タノデアリマスカラサウ致シマスルト第二十二條ニ掲ゲテアル事項ハ悉ク這

フ規定ヲ除イタノデ即チ此修正案ニ於テハ株式ハ分割出来ルモノデアルト云フ主義ヲ執ツタノデアリマス、株式ト云フモノハ株式會社ニ於テハ株主ノ權利義務ヲ定ムル標準デアル、單位デアル、株式ノ數ガ多ケレバ株主ノ權利ガ多クナル、株式ノ數ガ多ケレバ其義務モ亦多クナル、株式ヲ根本ニシテ權利義務ヲ定メルノハ、株式會社ノ當然ノ結果デアル、然ルニ此修正案ニ於テハ既ニ株式ノ金額ハ五十圓ヲ下ルコトヲ得ズ、即チ株式ノ金額ハ本則トシテハ五十圓以下ノモノヲ許サムト云フコトニナシテ居ルカラ金額ノ方ニ於テ制限ヲ設ケテ置ケバ例ヘ百圓ノ株券ヲ發行シタ場合ニ將來之ヲ五十圓二株ニ分ケル場合ニモ更ニ差支ナカラウ、又外國ナドニ於テモ法律ヲ以テ部分株ト云フヤウナモノヲ許シテ居ル例ガアル、例ヘ一株五十圓ナラバ五十圓デアリ、併ナガラ半端ノ株例ヘ八十圓ノ株モ二十圓ノ株モ宜イト云フヤウナ部分ノ株ヲ許シテ居ル例ガアル、此修正案ハ五十圓ト云フコトガ本則デアシテ之ヲ動スコトハ出來ヌト云フ以上ハ特ニ株式ノ分割ヲ禁ズル必要ハナカラウト云フノデ之ヲ削リマシタ、次ハ第四百四十七條第二項ニ「前項ノ規定ニ反シテ發行シタル株券ハ無效トス」前修正案ニハ「之ヲ無效トス」「之」ト云フ文字ガアグタノヲ削リマシタノハ他ノ文例ニ合セルダケノコトデアリマス、ソレカラ次ハ第一百五十二條、是モ趣意ニ於テハ殆ド變リハアリマセヌ、先ツ此第百五十三條ノ第二項中ニ「二週間ヲ下ラサル期間内ニ拂込ヲ爲スヘキ旨ノ催告ヲ發スルコトヲ要ス」トナシテ居ル、以前ノハ「拂込ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス」ト云フコトニナシテ居リマシタガ、此商法修正案ニハ全體ニ於テ所謂ル發信主義ヲ採ツタノデ、會社ノ方カラ通知ヲ出セバソレデ法律ノ云フ所ノ通知ト云フモノハ成立タセル方ガ宜カラウ必シモ是ガ一々通知ヲ受クベキ者ノ手ニ渡ラナケレバナラスト云フ必要ハナカラウ、殊ニ株式會社デ總會ヲ召集スルト云フ場合ニ必ズ其召集狀ガ一々其株主ノ手ニ渡ルト云フコトガ法律上必要ダト云フコトニナルト萬一壹人ニ其通知ガ居カラカッタト云フ場合ニ其總會ガ無效ニナリ其決議ガ無效ニナルト云フコトニナシテハ大變デアリマスカラ此修正ノ第百五十六條ニ於テモ「總會ヲ召集スルニハ會日ヨリ二週間前ニ各株主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス」トアシテ、發シサヌコトヲ要ス若シ競賣ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ満タサルトキハウト云フコトデ改メマシタ、次ハ同シ條ノ第三項デアリマスガ、是ハ全ク文章ノ修正デアリマス、舊トハ「讓渡人が拂込ヲ爲サ、ルトキハ會社ハ株式ヲ競賣スルコトヲ要ス若シ競賣ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ満タサルトキハ前ノ株主ハ其不足額ヲ辨濟スル責ニ任ス但從前ノ株主ニ云々トアシタヲ是ハ文章ガ穩デナイト云フノデ改メマシタノデ、趣意ハ少シモ變リハアリマヌ、ソレカラ次ハ第一百六十一條第三項中「株主ハ代理人ヲ以テ其議決權ヲ行

フコトヲ得但其代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ會社ニ差出タスコトヲ要ス」前ノ修正案ニ於テハ「委任狀ヲ會社ニ差出タスコトヲ要ス」トアリマシタガ此委任狀ト云フ文字ハ極メテ普通ノ字デアリマスガ併ナガラ必ズ委任狀ト云フマデモナクトモ宜シイ、ノミナラズ或ハ法定代理人ノ如キ幼者ノ株主ガ議決權ヲ行フ場合ニ其後見人ガ之ニ代シテ議決權ヲ行フトキノ如キハ委任狀ハ要ラナイ、其幼者ノ後見人デアルト云フコトヲ證明スレバ宜イノデアリマス、ソレデ「代理權ヲ證スル書面」ト云フコトニ改メマシタ○名村泰藏君チヨシト伺シテ置キタウゴザイマスガ、此代理人ハ株主デアラウガ何デアラウガ構ハヌト云フ趣意デスカ

○政府委員(岡野敬次郎君)御答ヘイタシマスガ、此代理人ハ法律ハ誰デモ構ハヌ積リデアリマスガ、併ナガラ能ク例ノアルコトデアリマスガ、會社ガ定款ヲ以テ代理人ハ是非株主カラ選バネバナラスト云フコトニ定メテ居ルノガ實際幾ラモアリマス、ソレハ固ヨリ定款ノ定ムル自由ニ任せマス、法律ハ制限ヲ設ケマセヌ、次ハ第一百七十二條ノ第一號中、前修正案ニ於テハ「各株主ノ氏名、住所」トアリマシタ此「各」ト云フ字ヲ削リマシタノデ、ソレカラ次ハ第一百七十三條、是ハ新ニ加ヘタ規定デアリマス、即チ第百七十三條ニ「社債原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス」トシテ記載スベキ事項ハ斯ク々々デアルト云フコトヲ定メタノデアリマス、株主名簿ト云フモノヲ設ケテサウシテ株主名簿ニ記載セネバナラヌ事項ヲ法律ガ定メルナラバ、會社ガ廣ク幾萬ニ達スル所ノ社債ヲ發行スル場合ニモ矢張リ社債原簿ト云フモノヲ備ヘテ置カナケレバ實際運轉が出來ヌカラ社債原簿ニ記載スル事項ヲ定メマシタノデ其事項ニ就テハ一々説明ノ必要ハアリマスマイガ此案ノ第二百三條ニ「社債ノ利率」、「社債償還ノ方法及ヒ期限」ト云フモノヲ一々二百三條ニ上ゲタノデアリマスガ今度ハ唯今ノ第百七十三條ニ之ヲ引上ゲテ來マシテ「社債原簿ニ記載スベキ事項」トシテ第二百三條ノヲ第百三十七條ニ引張ッテ來ルト云フコトニ改メマシタ且ツ此修正案ノ罰則ノ第二百六十一條ノ第九號ニ「定款、株主名簿、社債原簿ニ云々トキ」ト云フノヲ罰則ノ中ニ規定トシテ本則ノ中ニ規定シテナカッタ、今回ハ其缺點ヲ補フ爲メニ之ヲ新ニ加ヘタモ變フテ居リマセヌ寧ロ前修正案ノ缺點ノアシタノデ「社債原簿ニ記載スベキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ」ト云フノヲ罰則ノ中ニ規定トシテ本則ノ中ニ規定シテナカッタ、今回ハ其缺點ヲ補フ爲メニ之ヲ新ニ加ヘタモ變フテ居リマセヌ、ソレカラ次ハ第二百十四條ニシテ前方ニ御断リ申上ゲタイノハ此中ニ御承知ノ通り前修正案ニ於キマシテハ全體ノ條數ガ六百八十五條デアリマシタノヲ今度ノ修正案ハ六百八十九條ト云フコトニナリマシテ此中色ニ準用ナドヲ致シマシタ箇條ハ其條ノ削除トカ或ハ追加トカ云フガ

爲メニ各條ニアリマス準用ノ規定ノ數ガ變ツテ居ルノデアリマスガ其變リマシタ箇條ハ一々申上ゲマセズ實質ニ變リヲ來シマシタモノダケヲ申上ゲタイト思ヒマス、第二百十四條ノ第二項ニ「株主總會ハ前項ノ調査及ヒ報告ヲ爲サシムル爲メ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得」前ハ「前項ノ調査及ヒ報告ヲ爲サシムル爲メ株主總會ハ特ニ検査役ヲ選任スルコトヲ得」ト云フコトデアリマシタガ唯文字ヲ上下ニ致シマシテ他ノ文章ニ合ハセルト云フ趣意ヲ取ッタノデアリマス、次ハ第二百三十二條ニ「此場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス」是モ合名會社ノ箇條デ申上ゲタ通り茲ニ他ノ箇條ガ準用シテアツタノデアリマスガ此ノ如キ簡單ナ文字デアリマスカラ實質ヲ寧ロ示ス方ガ宜カラウト云フノデ修正ヲ加ヘタノデアリマス、次ハ第二百三十三條ニ「會社ノ帳簿其營業ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ハ本店ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲シタル後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス」トアリマス、以前ハ「解散ノ登記ヲ爲シタル後」ト云フコトデアツタ是ハ全體清算ト云フモノガ了ツテカラ保存ノ期間ヲ計算スルト云フノガ實質ニ副ツテ居リマンテ先刻ノ合名會社ノ第八十五條ノ規定ト牽連シテ居リマシテ前修正案ニ於キマシテハ解散ヲセント納リガ附カスト云フコトデアトマシタケレドモ先刻述ベマシタ通り第八十五條ニ特ニ規定ヲ設ケタノデアリマスガ理論ニ立入ツテ清算結了ノ登記ノ後ト云フコトニシタ方ガ宜カラウト云フノデ改メタノデアリマス、次ハ第二百四十八條デ前修正案ニハ第三項ト致シマシテ「第八十七條第三項ノ規定ハ無限責任社員ノ相續人ニ之ヲ準用ス」ト云フ規定ガアツタ第八十七條第三項ノ規定ト申シマスルノハ合名會社ノ規定デアリマシテ「社員カ死亡シタル場合ニ於テ相續人數人アルトキハ前二項ニ定メタル權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス」ト云フ規定デアリマス、先刻申上ゲタ通り削リマシテ此新シイ修正案ノ第百二條ニ「社員カ死亡シタル場合ニ於テ其相續人數人アルトキハ清算ニ關シテ社員ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス」ト云フモノハ第二百四十九條ノ次ノ第二百五十條ニ「第百二條ノ規定ノ規定ト云フモノハ第二百四十九條ノ次ノ第二百五十條ニ「第百二條ノ規定ハ株式合資會社ノ無限責任社員ニ之ヲ準用ス」トアリマスカラ第百二條ノ規定ニ「社員カ死亡シタル場合ニ於テ其相續人數人アルトキハ清算ニ關シテ社員ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス」以前ハ此「株主總會ノ承認ノ外」ト云フコト設ケタ、ソレカラ次ハ第二百五十一條ニ「清算人ハ第二百二十七條第一項及ヒ第二百三十條第一項ニ定メタル計算ニ付キ株主總會ノ承認ノ外無限責任會社ノ無限責任社員ニ準用スル方ガ宜カラウト云フノデ第二百五十條員ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス」ト云フモノデアリマシテ此前修正案ニアリマシタ一項ヲ二百四十八條カラ除キマシテ廣ク之ヲ株式合資會社ノ無限責任社員ニ準用スル方ガ宜カラウト云フノデ第二百五十條員ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス」ト云フモノデアリマシテ此前修正案ニアリマシタ一項ヲ二百四十八條カラ除キマシテ廣ク之ヲ株式合資會社ノ無限責任社員ニ准用スル必要ガナイカラ加ヘナカツタノデアリマスガ定ヲ準用スルノデ茲ニ規定スル必要ガナイカラ加ヘナカツタノデアリマスガ少シ不明ノヤウデアリマスカラ寧ロ加ヘタ方ガ宜カラウト云フノデ「株主總

會ノ承認ノ外」ト云フ文字ヲ加ヘタ趣意ニ於テ少シモ變リハナイノデアリマス、ソレカラ次ハ第二百五十三條ノ第二項ト云フモノガ前ハ別條デアツタノトシタダケノコトデアリマス、ソレカラ第二百六十一條ノ第二號中ニ「本篇ニ定メタル公告若クハ通知ヲ怠リ」トアリマシタノヲ「通知ヲ爲スコトヲ怠リ」ト改メマシタ是ハ本條ノ第二項トスル方ガ穩當デアルト云フコトデ之ヲ二項マスカラ、二號ノ方モ「爲スコト」ト云フ字ヲ加ヘテ揃ヘタ方ガ穩カデアラウト云フノデ改メマシタ、ソレカラ次ハ同シ條ノ九號ニ「定款、株主名簿、社債原簿、總會ノ決議錄、財產目錄、貸借對照表、營業報告書」トアリマス是ハ前修正案ニハ「事業報告書」トアリマシテ、丁度事業年度ヲ營業年度ト改メマシタノト同一ノ理由デ斯様ニ改メマシタ、次ハ第二百六十二條ノ九號ト十號ガ轉置セラレマシタ、以前ノニ八十號ガ九號デアリ九號ガ十號リマシタ前修正案ニ於キマシテハ解散ヲセント納リガ附カスト云フコトデアトマシタケレドモ先刻述ベマシタ通り第八十五條ニ特ニ規定ヲ設ケタノデアリマスガ理論ニ立入ツテ清算結了ノ登記ノ後ト云フコトニシタ方ガ宜カラウト云フノデ改メタノデアリマス、次ハ第二百六十四條第七號ニ「客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引」、舊トハ「客ノ來集ヲ目的トスル場屋ニ於テスル取引」トアリマシタノヲ之ヲ「場屋ノ取引」ト改メマシタ、「於テスル」ト云フノデ轉置イタシタノデアリマス、次ハ第二百六十四條第七號ニ「客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引」、舊トハ「客ノ來集ヲ目的トスル場屋ニ於テスル取引」トアリマシタノヲ之ヲ「場屋ノ取引」ト改メマシタ、「於テスル」ト云フノデ改メタカト云ヘバ例ヘバ芝居ヲヤルトカ或ハ或ル興業場ヲ設ケテ客ヲ呼ブト云フコトスルノガ即チ二百六十四條ニ云フ所ノ商行爲デアル、其興業場ヲ設ケテ一々客ヲ引ソ張リ込ンデ見セマセウ見マセウト云フ其取引ガ商行爲デハナイ、其取引ガ商行爲ノ様ニ見ヘル是ハ本案ノ主義デハナイノデアリマスカラ斯ウ改メマシタ、次ハ第二百七十七條、是ハ較ヤ大キイ修正デ殆ド一番大キナ修正ト申シテモ宜カラウト思ヒマス、民法ノ三百四十九條ノ規定ハ「質權設定者ハ設定行爲又ハ債務ノ辨濟期前ノ契約ヲ以テ質權者ニ辨濟トシテ質物ノ所有權ヲ取得セシメ其他法律ニ定メタル方法ニ依ラズシテ質物ヲ處分セシムルコトヲ約スルコトヲ得ス」ト云フコトニナックテ居リマス、此規定ハ少クトモ商事ニ就テハ餘り嚴格ニ過ギテ居ル、商事ニ就テハ若シ當事者が任意ノ契約ヲ以テ流質ト云フコトニシテモ宜シ、或ハ競賣法ニ依ラズシテ其質權ヲ執行スルコトヲ定メタラワレテ居リマス、此規定ハ少クトモ商事ニ就テハ民法ニ定メテアル制限ヲ寬メナケレバナラヌト云フ議論モアツテ實業家アタリカラモ大分其說ヲ主張スル人ガアツテ少クモ商事ニ就テハ制限ヲ寬メル方ガ宜カラウト云フ趣意ヲ採用シテ付テハ其支店ヲ以テ營業所ト看做ス」ト云フ一項ヲ加ヘマシタ、之ヲ加ヘタ

ノハ先刻ノ第四十四條ノ二項ニアシタ但書ヲ削ッタ結果ニアリマス、ソレカラ次ハ第二百八十一條ニ「金錢其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル指圖證券又ハ無記名證券ノ所持人カ」トアル、以前ハ「指圖證券ノ所持人」トノミアシタノヲ無記名證券ノ所持人ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ公示催告ノ申立ヲナシタトキニ債務者ヲシテ其債務ノ目的物ヲ供託セシメ又ハ相當ノ擔保ヲ供シテ其證券ノ趣旨ニ從ヒ履行ヲナサシメルト云フコトハ必シモ指圖證券ニ限ルモノデハナイ、無記名證券ニモ擴メルガ宜イ、又擴メナケレバナラヌト云フノデ斯ウ改メマシタ、次ハ三百一條ノ二行目ニ「營業年度」トアリマスガ、是モ以前ノ案ニ「事業年度」トアッタノヲ改メタノデアリマス、次ハ第三百二十條ニ「本章ノ規定ハ」ト云フノハ以前ハ「前六條ノ規定ハ」トアッタノデス、是ハ別段ニ「本章」トシテモ趣意ニ變リハナイ、此方ガ綺麗デ宜カラウト云フノデ改メタ譯デアリマス、次ハ第三百三十四條ニ「貨物引換證ヲ作リタルトキハ運送ニ關スル事項ハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ貨物引換證ノ定ム所ニ依ル」是ハ以前ハ「貨物引換證ヲ作リタルトキハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ運送ニ關スル事項ハ貨物引換證ノ定ム所ニ依ル」トアッタノヲ文章ヲ述サマニシタノデ此方ガ文章ガ穩當デアラウト思ヒマシテ改メマシタ、次ノ第三百三十六條ノ二行目ノ「若シ運送人カ既ニ其運送貨ノ」ト云フ所デ前ニハ「其」ト云フ字ガナカツタノヲ之ヲ加ヘテ其意味ヲ明瞭ニシタノデ、次ハ第三百五十一條ノ第一項ニ「手荷物カ到達地ニ達シタル日ヨリ一週間内ニ旅客カ其引渡ヲ請求セサルトキハ」トアリマス、以前ハ「請求セサル場合ニ於テハ」トアッタノヲ之ヲ「トキハ」ト云フ方ガ穩當デアル又文例モサウナツテ居リマスカラ改メマシタ、次ハ第三百六十二條ニ「預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ依ル」トアル、以前ハ「倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ寄託ニ關スル」云々トアリマシタ、是モ唯今述ベマシタ第三百二十四條ト同シ例デアリマシテ文章上此方ガ宜カラウト云フノデ倒置シタノデアリマス、次ハ第三百六十八條ニ「質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ手形ニ關スル規定ニ從ヒ」云々トアリマス、以前ハ「爲替手形ニ關スル規定」トナッテ居ツタ是ハ手形ノ總則中既ニ拒絶證書ニ關スル規定ガアルモノデアリマスカラ廣ク手形トシタ方ガ穩當デアルト云フノデ爲替ト云フ二字ヲ削リマシタ、次ハ第三百七十二條「質入證券ハ所持人ハ先づ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尙不足アルトキハ債務者其他ノ裏書人ニ對シテ其不足額ヲ請求スルコトヲ得」以前ハ「質入證券ノ所持人ハ先づ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尙不足アルニ非レハ債務者其他ノ裏書人ニ對シテ請求ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フ裏ノ方ニ是ハ元來此質入證券ハ其所持人ガ裏書ニ對スル不足ヲ請求スルコトガ出來ルコトノ問題デソレガ出來ルト云フコトヲ言表ハスガ爲ニ以前ハ「不足アルニ非レハ債務者其他裏書人ニ對シテ請求ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フ裏ノ方ニ言フタノデアル、今度ハ其請求ノ出來ルト云フ權利ノアルコトヲ表カラ言ッ

タ方ガ明瞭デアルト云フノデ「尙不足アルトキハ債務者其他ノ裏書人ニ對シテ其不足額ヲ請求スルコトヲ得」ト云フコトニ改メタノデアリマス、次ハ第三百三十八條、此規定ハ前修正案ニ於キマシテハズツト前ニ在リマシテ三百六十七條ノ次ニアッタノデアリマス、ソレヲコチラニ移シマシタ理由ハ即チテ箇條ノ中ニ或ハ誤解セラレテハイカヌト云フダケノ理由デ後ニ規定シタノデアリマス、ソレカラ次ハ第三百九十六條ニ「保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵、其自然ノ消耗保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス」トアル以前ハ此「保險契約者」ト「被保險者」トワレカラ其他ニ「保險金額ヲ受取ルヘキ者」トアッタノデスガ其「保險金額ヲ受取ルヘキ者」ト云フノヲ削ッタノデアリマス、是ハ生命保險ニ於テ新ニ加ヘマシタ箇條ナド、極密接ノ關係ヲ持ツテ居ル修正デアリマスガ生命保險ニ於キマシテハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ト云フノガ明ニアル、併ナカラ或ハ普通ノ火災保險トカ或ハ運送保險トカ其他損害ノ填補ヲ所ニ依ル」是ハ以前ハ「保險契約者被保險者外ニ保險金額ヲ受取ル者ハアルヘキ筈ハナイ、サウ云フ名稱ヲ與フベキモノハナイ、受取ル權利ヲ持ツテ居ル者ハ有リ得ルガソレハ詰リ被保險者ノ權利ヲ讓受ケタニ過ギナイ、故ニ特ニ此保險金額ヲ受取ルヘキ者ト云フコトヲ書ク必要ガナイ又言フヘカラサルモノデアルトシテ保險金額ヲ受取ルヘキ者ト云フ文字ヲ削除シマシタ、次ハ第三百九十八條茲ニ「保險契約ノ當時保險契約者ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス」云々トアリマス、以前ハ「保險契約者カ保險契約ヲ爲スニ當タリ」トアッタノヲ改メタノデアリマス是ハ既ニ前條ニ於キマシテ保險契約ノ當時ト云フ文字ヲ使ツテ居リマスカラ文章ヲ合ハセル爲メニ改メタノデアリマス、ソレカラ次ハ第四百五條ニ第二項ト云フモノガ新ニ加ヘタノデアリマス、ソレハ保險者ガ破産ノ宣告ヲ受ケテ居ル……保險會社ガ破産ノ宣告ヲ受ケテ居ル場合ニ保險契約者ガ契約ノ解除ヲ爲ハセトガ出來ルト云フコトヲ第一項ニ言フテアル解除ヲ爲シタ場合ハドウナルカト云フト民法ノ規定ニ依リマシテ保險者ガ被保險者ヲシテ元ノ地位ニ戻サナケレバナラヌト云フ義務ヲ持ツテ居ル、若シ其義務ヲ履行スレバ先づ雙方ガ契約以前ノ地位ニ立戻ルノデアリマス、然ルニ此場合ニ長ク保險契約ガ續イテ居ツタ或ハ十年ナリ「十年ナリ保險金ヲ拂ツテ居ツタ、此場合ニハ直ダニ破産ノ宣告ヲ受ケタカラト言ウテ取ツタ保險料ヲ一切返サナケレバナラヌオマケニ利息マテ付ケテ返サナケレバナラヌト云フコトデハ大變ナコトデアリマスカラ此解除ト云フノハ將來ニ向ツテノミ其效力ヲ生ズルコトニナツタノデアリマス、次ハ第四百十條第四百十一條是ハ二條牽連シテ説明致ス方ガ宜カラウト思ヒマス、以前ハ此「保險期間中危險ガ著シク變更又ハ增加シタリトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但其解除ハ將來ニ向ツテノミ其效力ヲ生ス」ト云フノデ此危險ガ著シク變更シタリ或ハ危險ガ增加シタリトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但其解除ハ將來ニ向ツテノミ其效力ヲ生ス」ト云フノデ此危險ガ著シク變更シタリ或ハ危險ガ增加シタリトキハ保險者ノ行爲ニ因クテ出テタル場合トソレ

カラ被保險者ト云フモノガ與リ知ラザル原因ニ依テ危險ガ増加若クハ變更シ
タ場合ヲ區別セズ何時デモ變更危險ガ著シクアレバ被保險者ガ契約ノ解除ヲ
ナスコトガ出來ルト云フコトニナシテ居ツタノデアリマス、併ナガラ是ハ矢
張保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スベキ事由ニ依ツテ變更增加シタナラバ
保險契約ヲシテ當然其效力ヲ失ハシメル方ガ宜カラウ、又保險契約者又ハ被
保險者ノ責ニ歸スベカラサル事由ニ依テ變更又ハ增加シタモハ保險者ニ解
除ヲ爲スノ權利ヲ與ヘルコトニシタ方ガ宜カラウ、何レモ其責ニ歸スベキ場
合ト責ニ歸スベカラザル場合トヲ區別シテ一ハ保險契約ガ當然效力ヲ失フテ
仕舞ヒ、一ハ保險者ニ解除ノ權利ヲ與ヘルト云フコトニ區別スル方ガ宜イト
云フノデ此ノ如クシタノデアル、其結果第四百十條ト云フモノガ新タニ加ハ
リ、ソレカラ第四百十一條ト云フモノハ「保險者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘ
カラサル事由ニ因リテ」ト云フ文字ヲ加ヘ而シテ第四百十一條ノ二項三項ト
云フモノガ以前獨立ノ箇條モアツタノヲ合併シタノデアリマス、ソレカラ次
ハ第四百二十二條ノ第一號ニ「保險ニ付シタル建物ノ構造、用方及ヒ其所在ノ場所」トアッ
タルノハ以前ハ「保險ニ付シタル建物ノ所在構造及ヒ用方」ト
タ、「所在ノ場所」ト云フ文字ハ餘リ面白クナイ文字デアルノミナラズ民法ニ
モ所在ト云フ文字ガアルカラサウ改メタノデアリマス、第二號モ同様ノ理由
デアリマス、第二號ニ「納ルル」ト云フノハ以前ハ「貯藏セル建物」云々ト
アツテ如何ニモ貯ヘテ仕舞ツテ置クト云フヤウナ文字デ穩デナイト云フノデ
斯ウシマシタ、次ハ第四百二十九條ノ規定ハ是ハ新ニ加ヘマシタ規定デアリ
マス、此修正案ノ第三百九十八條ニ「保險契約ノ當時保險契約者カ惡意又ハ重
大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ
告ケタルトキハ其契約ハ無効トス但「云々トアリマス、此唯今説明イタサムト
スル第四百二十九條ノ實質ハ殆ンド今讀ミマシタ第三百九十八條ト同シコト
デアル、所ガ普通ノ損害保險ノ場合ニ在ツテハ、例ヘバ甲ト云フ者ガ自分ノ
コトヲ保險ニ付シテ自分自ラ契約スルトキハ其甲ハ保險契約者デアル、又甲
ガ乙ノタメニ保險契約ヲスルトキハ甲ガ保險契約者デ乙ガ被保險者デアル、
所ガ生命保險デハ同様ニ參リマセヌ、例ヘバ被保險者ト云フモノハドウ云フ
人間ヲ云フカト云フト生命ノ保險ヲセラル、所ノ人間デアルカラ例ヘバ甲ト
云フ者ガ乙ト云フ者ノ生命ヲ保險ニ附シテサウシテ甲自ラガ保險契約ヲスル
ト云フ場合ニ甲ナル者ハ保險契約者デアツテ乙ナル者ハ其生命ヲ保險セラル
效トセネバナラヌモノデアル、然ルニ生命保險ニ付テ特別ノ規定ガナイト其
キニ乙ガ病氣ニ罹ツタカト問ヘバ罹ツタコトハナイ、或ハ酒ヲ多量飲ムカト
問ヘバ實際飲ミナガラ一向飲ミマセヌト云フ、サウ云フ場合ニ保險契約ハ無
人間デアル、此法案ノ所謂被保險者ト云フトキハ乙ノ身體検査ヲスルト
キニ乙ガ病氣ニ罹ツタカト問ヘバ罹ツタコトハナイ、或ハ酒ヲ多量飲ムカト
問ヘバ實際飲ミナガラ一向飲ミマセヌト云フ、サウ云フ場合ニ保險契約ハ無
趣意ガ明瞭デナイ、即チ以前ハ此案ノ第三百九十八條ヲ準用シテアツタカラ
保險契約者ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ依リ云々トアルノデ、甲ガ乙ノ身體ヲ
保險ニ掛ケルトキノ如キハツレニハ嵌ラナイカラツレヲ明瞭ニスルタメニ此

條ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ次ハ四百三十二條ニ「保險契約者又ハ保
險金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナ
ク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス」トアル、是ハ損害保險ノ第四
百十二條ト同ジ規定ヲ此所ニ設ケタノデ、被保險者即チ生命ヲ保險セラレテ
居ル者ガ死ンダ場合ニ保險契約ヲ結ンダ者ガ通知ヲスルト云フコトハ當然ノ
義務デアルト云フノデ此所ニ新ニ一條ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ第四
百三十三條ノ一項ニ二項中準用ノ規定ノ條ノ數字ガ變ツテ居ルト云フコトハ先
刻モ述ベマシタ通り別段説明ハイタシマセヌ、ソレカラ以前損害保險ノ規定
ヲ生命保險ニ準用シテアツタノデ此修正デハ特ニ生命保險ニ就テ新ニ箇條ヲ
設ケマシタ、趣意ヲ明カニスルタメニ新條ヲ加ヘマシタカラ其結果以前準用
シテアツタモノヲ準用セヌデモ宜イコトニナリマシタ、故ニ四百三十三條ノ
第一項中カラ其準用セヌデモ宜イ箇條ヲ除イタノデアリマス、ソレカラ次ニ
本條ノ第二項中「保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサルトキハ被保險者ト
ノ爲メニ積立タル金額ヲ拂戻スコトヲ要ス」トアル是ハ以前ノ案ニハ「保險
者ハ被保險者ノ爲メニ積立タル」云々トアツタノヲ「保險者ハ」ト云フ字ヲ
削ツタノデ之ハ頭ノ方ニ「保險者カ」云々ト書起シテアルカラ再ビ保險者ト
云フコトヲ斷ル必要ハナイト云フ理由デ改メマシタ
○政府委員(梅謙次郎君) 次ハ第四百四十二條第二項中ノ三行目ニ於テ、以
前ノ案ニハ「其役場ニ於テ拒絶證書ヲ作ルコトヲ得」トアリマシタノヲ「其
役場又ハ官署若クハ公署ニ於テ」ト云フコトニ改メマシタ、之ヲ加ヘタ理由
ハ舊トノ「其役場」ト云フノハ無論公證人若クハ執達吏ノ役場デアツテ利害
關係人ノ營業所住所又ハ居所ノ知レザルトキニ官署又ハ公署ニ問合ヲシテワ
レデ知レナイ場合ニ此手續ヲスルノデアリマス、然ルニ又再び自分ノ役場ヘ
歸ツテカラ拒絶證書ノ作ラネバナラヌト云フコトニシテ置クヨリモ其場所デ
直ニ拒絶證書ヲ作ルコトニ規定シテ置ク方ガ便利デアルト云フノデ「官署若
クハ公署」ト云フ文字ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ其次ガ四百九十條ノ
四行目ニ「第四百八十七條第一項」トアリマスガ、是ガ舊トハ「第四百八
四條」トノミアツタノデ「四」ガ「七」ニナシタノハ前二箇條ノ加ハツタ當
然ノ結果デアリマスガ、舊トハ「第一項」ト云フ文字ノ加ハツタノハ第一項
ダケガ此所ニ適用セラルベキ規定デアルカラソレヲ明ニシタマデノコトデ別
ニ意味ハアリマセヌ、次ハ第五百六條「爲替手形ノ所持人其他被參加人ノ後
ル人間デアル、此法案ノ所謂被保險者ト云フトキハ乙ノ身體検査ヲスルト
キニ乙ガ病氣ニ罹ツタカト問ヘバ罹ツタコトハナイ、或ハ酒ヲ多量飲ムカト
問ヘバ實際飲ミナガラ一向飲ミマセヌト云フ、サウ云フ場合ニ保險契約ハ無
人間デアルカラ、此法案ノ所謂被保險者ト云フトキハ乙ノ身體検査ヲスルト
キニ乙ガ病氣ニ罹ツタカト問ヘバ罹ツタコトハナイ、或ハ酒ヲ多量飲ムカト
問ヘバ實際飲ミナガラ一向飲ミマセヌト云フ、サウ云フ場合ニ保險契約ハ無
趣意ガ明瞭デナイ、即チ以前ハ此案ノ第三百九十八條ヲ準用シテアツタカラ
保險契約者ガ惡意又ハ重大ナル過失ニ依リ云々トアルノデ、甲ガ乙ノ身體ヲ
保險ニ掛ケルトキノ如キハツレニハ嵌ラナイカラツレヲ明瞭ニスルタメニ此

ハ爲替手形ノ如キモノトハ違イ長ク流通スベキモノデナイカラ仕拂人ノ引受ヲ求メルト云フコトヲ法律上認メル必要ハナイト云フコトニ改メ此引受ト云フコトハ小切手ニハ適用セヌコト、イタシマシタ、今日保證ト云フヤウナコトガ實際ニ行ハレテ居ルサウデゴザイマスガソレハ固ヨリ有効デハアリマスルケレドモ手形上ノ關係ハ生ジナイ、唯保證ヲシタ人ト受ケタ人トノ間ニ一ノ法律關係ヲ生ズルニ止マルト云フコトニシタ方ガ穩デアラウト云フノデ引受ニ關スル規定ヲ準用シナイ、ソレカラ第五百三十八條ノ第一項ニ「本法ニ於テ船舶トハ商行爲ヲナス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノヲ謂フ」トアリマスガ元ノ修正案ニハ「本法ニ於テ船舶トハ營利ノ目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノヲ謂フ」トアリマシタ商行爲ヲナスト云フコトハ今度ノ商法ニ於テハ商法ト云フ方ガ穩當デアラウト云フマデノコトニ付テ生シタルトキト雖モト云フモノハ則チ商行爲ニ關スル法律ト云フ意味デ總テ會社デモ何デ商行為ヲ爲スノ目的トスルト云フコトニナツテ居ル、海商編ハ隨分外國ノ例ニ於テモ又舊商法ナドニ於テモ適用ヲ廣ク致シマシテ商行爲ヲ目的トシナイ船ニ適用シテ居ル例ハ許多アリマスルケレドモ一旦商法ト云フモノヲ別段ニ排ヘマシテ他ノ部分ハ總テ商行爲ニ關スルモノノデアル以上ハ海商モ矢張リ商行為ノミニ關スルモノデナケレバ筋ガ通ラナイ、ソレ故ニ原文ニモ既ニ營利ノ目的ト云フコトハ略、其趣意ニ依クテ居ツタノデアリマスガ營利ト申ストマダ廣過ギル例ヘバ漁業ノ如キモノモ營利ノ目的デアル併シ漁業ハ商行爲ニ關シテ居ラヌモノトナツテ居ル、サウシテ見ルト云フト前申上ゲタ所ノ主義ガ是デハ十分貫カヌ、必要アラバ外ノ法律デ以テ此商法ノ規定中或部分ヲ商行為ヲ爲スノ目的トセザル船舶ニモ準用シテ宜シイケレドモ商法ニ於テハ飽クマデ商行爲ヲ爲ス目的ト云フ範圍ニ止メル方ガ穩當デアラウト云フノデ商行為ヲ爲ス目的ト云フコトニ改メマシタ、第五百四十五、是ハ「船舶所有者カ債權者ノ同意ヲ得シテ更ニ航海ヲ爲サシメタルトキ」トアル原文ニハ「新ニトアッタガ此所ハ一遍航海シタ後デナケレバ適用ガナイカラ「更ニ」ト致シマシタ、次ハ第五百四十七條、是モ文字ノ修正デ「船舶共有者ハ其持分ノ價格ニ應ジ船舶ノ利用ニ關スル費用ヲ負擔スルコトヲ要ス」トアル原文ニハ「費用ヲ支拂フコトヲ要ス」トアッテ是ハ誰ガ誰ニ支拂フト云フコトヲ規定スルノデナクシテ畢竟誰ガ負擔スルト云フコトニ定メル規定デアリマス、負擔ノ文字ガ穩デアラウト云フノデ改メマシタ、次ハ第五百五十七條デアル、是ハ先刻ノ箇條ト同ジコトデ「船舶ノ賃借人カ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ」云々トアリマスガ元ノ修正案ニハ「營利ノ目的」トアッタノデス、其次ハ第五百六十三條、是ハ「船長ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除ク外自己ニ代ハリテ船舶ヲ指揮スヘキ者ニ其職務ヲ委任シタル後ニ非サレハ」マデノ文字ガ今度新ニ加フタ文字デアリマス、元ノ修正案ニ依リマスト船長ハ已ムコトヲ得ナイ場合デナケレバ一切上陸ハ出來ナイト云フコトニナツテ居ル、所ガ實際ニ於テハ中々サウ云フ窮屈ナモノデナクシテ隨分船ノ港ニ著イタ時船長モ上陸スル、ソレヲ全ク禁ズルノハ餘リ酷デアルト云フコトヲソレデ此自分ニ代ツテ

船舶ヲ指揮スヘキ者サヘ残シテ置ケバ誰ガ指揮ヲスルカ分ラヌヤウテハ困ルガ其者サヘ定メテ置ケバ船長ハ上陸シテモ構ハヌトスウ云フコトニ改メマシタ、其次ハ第六百十六條ノ第二項中ニ「第六百三十二條第一項第一號及ヒ第六百十四條第一項ニ掲ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキト雖モ」トアリマスガ是ハ元ノ修正案ニハ「トキハ」トアッタ、是ハホンノ文字ノ修正デ全部ニ付テ此ノ如キコトガ生ジマシタナラバ尙ホ更解除ガ出來ルノデゴザイマスルデ「トキト雖モ」ト云フ方ガ穩當デアラウト云フマデノコトニ付スリマス、其次ハ第六百二十八條、是ハ原文ニハスウ云フ風ニアツタ上ノ所ハ同ジテ「原所持人ガ最モ先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者ハ他ノ所持人ニ先チテ其權利ヲ行フコトヲ得」トアッタノヲソレヲ「證券ヲ所持スル者」其權利ヲ行フト致シマシタノハ唯文字ノ變更デ此方ガ文章ガ穩デアル、他ノ文例ニモ合ウテ居ルト云フコトダケデアリマス、其次ハ第六百五十八條、是ハ「積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益又ハ報酬ノ保険」トアリマスガ原文ニハ單ニ「利益ノ保険」トアッタガ報酬ノ保険ト云フモノモ認メテ居ルノデアリマスカラ此箇條ノ規定ト云フモノヲ矢張リ報酬ノ保険ニモ適用スル方ガ穩當デアルト云フコトデ報酬ト云フコトヲ加ヘマシタ、ソレカラ第六百六十一條是ハ前議會ニ於キマシテモ即チ此貴族院ニ於テ大分御論ノアッタ箇條デアリマスガ前ニハ船舶ノ保険ノ場合デアッテモ積荷ノ保険ノ場合デアッテモ「船舶ノ名稱國籍種類及ヒ總噸數」ソレカラ「船長ノ氏名」「發航港到達港又ハ歸航港」サウ云フモノマデ保険條件ニ掲ゲルト云フ案デアッタ所ガ是デハ隨分ウルサイ、船舶ノ保険ニ付テハドウモ噸數マデ書ケト云フコトハ實際困難デアル、殊ニ積荷ノ保険ニ付テ噸數マデ書クト云フコトハ煩ハシイノデ發航港、到達港、歸航港ト云フノハ是ハ船積港ト陸揚港ト書イテ置ケバヨカラウ、船長ノ氏名モヨカラウト云フコトハ實際ドウモ原文ノ通りデハ行ハレ難イト云フコトデアリマシタカラ再ビ調査ヲ致シマシタ末船舶ノ保険ニ付テモ噸數ヲ書カヌデモ宜シイ、ソレカラ積荷ノ保険ニ付テモ船舶ノ噸數、船長ノ氏名モ發航港モ到達港モ寄航港モ書カヌデモ宜イト云フコトニナリマシタ、ソレカラ第六百六十五條、是ハ「積荷ヲ保険ニ付シ又ハ」カラ「報酬ヲ保險ニ附シ」マデノ文字ガ新ニ加フタノデアリマス、是ハ報酬ニ付テハ先刻申上ゲタト同ジヤウナ譯デ前ニハ此規定ハ積荷ノ保険ダケニ適用シテアリマシタガ、利益ノ保険ノ場合デモ報酬ノ保険ノ場合デモドウモ同一ノ理由ガアルヤウデアリマスカラ之ヲ加ヘマシタ、ソレカラ第六百六十七條中ノ第一號ニハ「保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失」トアリマスガ原文ニハ「保險契約者、被保險者若クハ保險金額ヲ受取ルヘキ者」トアッタノデ此改正ノ理由ハ先刻隣席カラ述ベマシタカラ申シマセヌ、ソレカラ第三號ニ於テ「利益若クハ報酬」ト云フ文字ガアリマス、是モ先刻ノ修正ト同一ノ理由デアリマス、ソレカラ第六百七十條ノ二行目ニ「代價ノ中ヨリ運送貨其費用ヲ控除シタルモノ」トアリマスガ、是ガ原文ニハ「控除シ其殘額」ト

アリマシテ意味ハ變リマセヌガ他ノ箇條ハ「費用ヲ控除シタルモノ」トアリ
マスカラ此所モ文字ヲ詰メマシタ、ソレカラ第百八十三條ハ新ニ加ヘタ箇條
デアリマス、此箇條ヲ加ヘマシタ理由ハ第六百八十條以下ニ船舶ニ關スル特

別ノ先取特權ト云フモノヲ規定シテアリマスガ此規定アルニモ拘ラズ、他ノ

先取特權ハ矢張存シテ居ル、殊ニ民法ニ規定シテアル所ノ一般ノ先取特權ナ
ドハ無論船舶ニモ及ブモノデアル、然ルニ其先取特權ト此所ニ規定シタル先

取特權ト何レガ先キニ行ハルベキモノカト云フコトハ前ノ修正案ニハ規定ガ
洩レテ居リマシタ、前ノ修正案モ其趣意ハ矢張リ今度規定シタ通りノ積リテ
アツタガ明文ガナケレバソレガ分ラナイ、其場合ニ於テハ船舶債權者ノ先取

特權ト云フ特別ノ先取特權ノ方ガ他ノ先取特權ヨリ先ニ行ハレルト云フコト
ヲ規定シタノデアリマス、是ダケデアリマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 諸君ニ御相談致シマスガ、唯今政府委員ノ御説
明モ一ト通り承リマシタガ、此上ハ今日ダケ一日置キマシテ明朝カラ質問ヲ
始メルコトニシタラ如何デゴザイマセウ

○子爵曾我祐準君 此委員ノ中ニハ所得稅ノ委員ガ大分ゴザイマス、ソレデ
是ト成ルベク衝突セヌヤウニ大抵隔日ノ見込デアツチデハ豫メ約束ガシテア
リマス、今日此委員會ガアツタカラ其次ノ日ニ開イタラ宣カラウト云フヤウ

ニ申合セテアリマシテ明日ハ所得稅ノ方ニ略々極メテアリマス

○三浦安君 御質問ノアル御方ハ直ニ質問ニ掛クタラドウデアリマスカ、御
説明ヲ聽イタ所デ格別大層ナ修正ト云フデモナシ、半分ハ文字ノ修正デ意味
ノ修正モ缺ケタルヲ補フトカ或ハ足ラザルヲ補フトカ云フコトデ中ニ省イタ
箇條モアリマスガ格別ノコトハナイカラ御疑惑ノ方ハ直グ御質問ニナツテハ
如何デアリマセウカ

○子爵曾我祐準君 併シモウ十二時デアルカラ今日引續イテ午後ニ遊バシタ
ラドウデアリマセウ

○委員長(侯爵黒田長成君) 實ハ私ノ考デハ今一ト通り説明ヲ承リマシタカ
ラ一兩日間ヲ置イテ其間ニ銘々篤ト勘考シテ質問ヲシテ直ニ決議ニ運ブヤウ
ニシテハドウカト存ジタノデアリマス

○子爵曾我祐準君 ソレデモ一向異議ハアリマセヌ

○男爵尾崎三良君 今委員長ノ御説デアリマスガ此案ハ既ニ昨年モ貴族院ダ
ケハ可決シテ通過シタノデアリマスカラ今政府委員ノ説明ノアツタ所モ少シ
ハ修正ハアルガ大シタ修正デモナイカラ如何デゴザイマセウカ、是ハ著々朗
讀デモシテサウシテ其間ニ意見ノアル方ハ意見ヲ述ベテ著々進ンデ往クタラ
ドウデアリマスカ

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデ實ハ明日一日置イテ明後日午前カラ引續
イティタセバ明後日ニ結了イタスデアラウト想像シテ居リマス、サウナスッ
テハ如何デアリマスカ

○名村泰藏君 宜シウゴザイマス、ソレデ一向差支ゴザイマセヌ

○委員長(侯爵黒田長成君) ツレデハ明後日午前十時カラ開キマスカラ今日
御出ノ方ニハ別段御通知イタシマセヌカラドウゾ……

午前十一時五十八分散會